

# 南仏治安情報（2011年10月）

## ■プロヴァンス地方

### 1. 自動車やバイクを狙った強盗事件が多発

10月には地方紙が報じたものだけで8件のカージャックが発生しました。犯人は銃などで武装した者がほとんどで、高価なスクーターや四輪駆動車が頻繁に狙われています。10月10日に発生したスクーターを狙った強盗では、6人組の強盗に抵抗した被害者の男性が死に至るまで執拗な暴力を受けました。盗難車両は他の強盗事件に使用されることが多くなっています。

### 2. 横断歩道上での大事故

10月19日夜マルセイユ市 Corniche Kennedy を散歩中の親子が、横断歩道上で19歳の男性が運転する車に約30メートル撥ね飛ばされる交通事故が発生しました。幸い奇跡的に親子は命を取り留めましたが重傷を負いました。マルセイユでは青信号の横断歩道上で歩行者が犠牲になる事故が頻繁に発生していますので十分にご注意ください。

### 3. マルセイユ市が路上の治安改善策を導入

10月14日マルセイユ市は、路上での物乞いおよび飲酒行為を禁止する条例を制定しました。サン・シャルル駅周辺から旧港などの市中心部及び Stade Vélodrome までの範囲が対象となり、通行人への執拗な物乞いには38ユーロの罰金が科されることになりました。

### 4. インターネット上の売買情報に注意

10月下旬、インターネット上の個人売買情報ページ「Le Bon Coin」で中古バイクを購入することになった男性が、マルセイユ市内の取引場所で強盗に遭う事件が発生しました。売主が偽情報を流し、男性が騙されたものです。男性はメールや電話で偽の売主と連絡を取り、その後取引場所を変更され、最終的に複数の武装した男により現金等を盗まれました。同様の手口の強盗事件は頻繁に発生しており、警察からも改めて注意勧告が出ています。

## ■コートダジュール地方・コルシカ島

### 1. 公共交通機関内での暴力事件などに注意

10月に地方紙が報じた事件の中で、バスやトラムなど公共交通機関内や同停留所などで発生した暴力を伴うひったくり事件や、通り魔的な暴力事件が目立ちました。被害者は学生や若い女性が多く、中高生グループや泥酔者などが主に夜間に犯行に及んでいるようです。外出の際はご注意ください。

### 2. 警察のパトロール強化

ニース市では今夏7~8月の2ヶ月間に公共交通機関内でパトロールを3800回実施し、1000件を超える騒音被害に対する介入を行いました。日中200名、夜間40名で行ったパトロールの結果、昨年に比べ12%増の約400人を尋問、改造バイクなど車両約300台を没収しました。今後も市民や観光客の安全のため、強化体制を続けていく予定です。

### 3. インターネット上での詐欺の新たな手口

昨今のFacebookやTwitterなど新たな通信・交流ツールの普及と共に、個人情報悪用した詐欺事件が後を絶ちません。個人のメールアドレスを乗っ取り、登録されているアドレス全て

に「誘拐されたので身代金を振り込んで欲しい」などと送金を要求するメールを送りつける手口も発生しています。誕生日などの個人情報やパスワード解読に悪用されやすいので公表を避け、パスワードを定期的に変更するなどして十分注意をしてください。

#### 4. 高性能携帯電話を狙った犯罪に警笛

10月上旬にモナコで行われた情報システムのセキュリティに関する会議で、近年急激に普及している高性能携帯電話を狙った犯罪について言及されました。フランスでは Black Berry や iPhone など 2011 年に 18 億台近くが市場に上るほど普及を見せていますが、インターネットに接続可能で個人情報も多く登録できることから、クレジットカードを含む個人情報漏洩へのウイルス対策ソフトや盗難時の登録内容の遠隔削除など、対応策が求められています。

### ■ミディ・ピレネー地方

#### 1. トゥールーズ市の空き巣被害、依然として急増中

2011 年 1～9 月の統計では、トゥールーズ市内で発生した空き巣が合計 4375 件（前年比 26% 増加）、内訳は St Michel 地区 884 件（54%増）、Mirail 地区 601 件（55%増）、その他 Blagnac 市で 136 件（47%増）、Colomiers 市 350 件（40%増）、Muret 市 726 件（67%増）など軒並み増加しています。警察の懸命の取締りにより既に 160 人が逮捕されていますが、勢いは衰えていないようです。盗み易い宝飾品が特に狙われていますので改めて戸締りにはご注意ください。

#### 2. トゥールーズ市が路上での飲酒禁止令を導入

飲酒者同士の喧嘩や泥酔者による暴力・破壊行為の増加を受け、トゥールーズ市では 9 月よりカフェやバーのテラスを除く屋外（路上）での飲酒禁止令を導入し、10月上旬には約 40 名の警官による一斉取締りが行われました。現段階では飲酒者への啓蒙活動として注意に留まり罰金は科されませんが、今後は取締りが頻繁に行われるようになります。

#### 3. トゥールーズ市内でのひったくり

10月には地方紙が報じたものだけでトゥールーズ市内で 15 件のひったくりが発生しました。2～5 人の複数人での犯行が多く、中には激しい暴力を伴う事件もありました。主に携帯電話が狙われていることから、夜間の一人歩きの際は十分注意をしてください。

#### 4. ミディ・ピレネー地方での麻疹（はしか）流行

先月もお伝えしましたが、近年フランスでは Rougeole（麻疹、はしか）の感染者数が増加しています。ミディ・ピレネー地方は特に多く、2008 年の 600 人から 2009 年には 1500 人、2010 年には 5000 人にまで増え、今年は更に増加すると見られています。麻疹は感染力が強く、乳幼児や高齢者の他、免疫不全症患者や妊婦は特に注意が必要です。麻疹にかかったことがなく、予防接種を受けていない方は医師に相談するなど十分にご注意ください。

\* 以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。